

ファシリテーション研修

～ 実りある効果的な会議運営のために ～

目的

住民との協働のまちづくりや日常業務における会議において、参加者の理解と共感を得ながら中立的な立場で議論を促進し、合意形成や相互理解を導くために有効なファシリテーション技法を習得します。

内容

ファシリテーター養成

【木下 理仁】

- ワークショップとファシリテーター
 - ・話し合いをデザインする
 - ・ファシリテーターの役割
- ワークショップの「場づくり」
 - ・アイスブレイクの効果
 - ・会場レイアウトによるちがい
- ワークショップの手法いろいろ
- 話し合いを「見える化」する方法
- まちづくりワークショップの事例
- よいファシリテーターとは

準備物

特にありません。

研修PR

「一部の人しか発言しない」「だらだらと長い」「空気が重い」「罵声が飛び交う」「結論に納得がいかない」等々、会議に出て、「もう少しなんとかならないものか」と思った経験はありませんか。

ファシリテーションには「促す」「手助けする」という意味があり、ワークショップや話し合いの場でその役割を担う人を「ファシリテーター」と呼びます。

本研修では、協働のまちづくりのためのワークショップや日常の打合せを、より楽しく、活気に満ち、実りのあるものにするためのファシリテーターのノウハウや姿勢について学びます。

対象・日程等

対象者：市町村長等の推薦、希望職員

日程：令和7年1月21日(火)～1月22日(水)

定員数：36人

場所：東北自治総合研修センター

受付時間：午前9時20分～9時50分

講師

きのした よしひと
木下 理仁

(一社) 日本経営協会 講師



経歴

IT企業エンジニア、青年海外協力隊(スリランカ)、神奈川県国際交流協会(現・かながわ国際交流財団)職員、東京外国語大学ボランティア・コーディネーターなどを経て、2010～2014年、神奈川県逗子市の非常勤特別職「市民協働コーディネーター」として、市の各種事業の調整業務やまちづくりのためのワークショップの企画、運営に携わる。その後、他の自治体でもワークショップのファシリテーターを務め、自治体職員の研修にも関わるようになる。また、東海大学国際学部の非常勤講師でもあり、『難民の？がわかる本』『国籍の？がわかる本』などの著書がある。

タイムスケジュール

	9:00	10:00	10:30	12:00	13:00	16:00	16:30
1日目	開講式 初エンタージョン	研修		休憩	研修		宿泊初エンタージョン
2日目	研修			休憩	研修	閉講	